



Cisco Business Dashboard Probe のインストール

Cisco Business ダッシュボードプローブのインスタンスは、管理対象のネットワーク内のサイトごとに必要です。Probe はネットワークを検出し、検出したデバイスからパフォーマンスおよび設定データを収集して Dashboard にその情報をレポートします。

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Business Dashboard Probe ソフトウェアの取得および検証 \(1 ページ\)](#)
- [Ubuntu Linux への Cisco Business Dashboard のインストール \(2 ページ\)](#)
- [Raspberry Pi へのインストール \(2 ページ\)](#)
- [Ubuntu または Raspbian Pi OS からの Cisco Business Dashboard の削除 \(3 ページ\)](#)

Cisco Business Dashboard Probe ソフトウェアの取得および検証

Cisco Business ダッシュボードプローブは仮想マシンイメージとして配布され、また、次のオペレーティングシステムで使用するインストーラとして配布されます

- インテルアーキテクチャを搭載した PC で実行する Ubuntu Linux ディストリビューション
- Raspberry Pi で実行する Raspberry Pi OS (旧 Raspbian) の Linux ディストリビューション

Linux インストーラを取得するには、<https://www.cisco.com/jp/go/cbd-sw> にアクセスしてください。お使いのオペレーティングシステムのバージョンに適したインストーラを選択してください。

Linux インストーラはシスコで署名されており、ソフトウェアが改ざんされていないことが保証されています。Linux インストーラでは、インストール前とインストール中にパッケージの暗号化署名が自動的に検証されます。署名の検証に失敗すると、エラーが報告され、インストールプロセスが中止されます。署名の検証は、Cisco Business ダッシュボードプローブアプリケーションによって自動アップグレードが実施される場合にも実行されます。

Ubuntu Linux への Cisco Business Dashboard のインストール

Cisco Business ダッシュボードプローブ ソフトウェアを取得したら、次の手順でインストールできます。

1. アプリケーションをホストできる稼働中の Ubuntu Linux 環境があることを確認します。Ubuntu Linux のセットアップについては、Ubuntu Linux のマニュアル (<https://help.ubuntu.com/> [英語]) を参照してください。開始するにあたってチュートリアル (<https://ubuntu.com/tutorials/install-ubuntu-server> [英語]) が役に立つ場合があります。
2. Ubuntu Linux PC にインストーラ ファイルをコピーします。
Linux システムのネットワーク インターフェイスは、1 つ以上のネットワークデバイス用の管理インターフェイスが含まれている VLAN に接続されている必要があります。Probe が 1 つ以上のネットワーク デバイスに直接接続されていない場合、ネットワークを完全に検出できません。
3. `sh <インストーラのファイル名>` コマンドを使用してインストーラを実行します。たとえば、`sh cbd-probe-2.3.0-ubuntu-focal-amd64.signed.sh` です。必要に応じて、`sudo` プロンプトでパスワードを入力します。

インストールプロセスが完了すると、Probe アプリケーションが自動的に起動します。アプリケーションの利用方法および初期設定方法の詳細については、『[Cisco Business ダッシュボード クイックスタート ガイド](#)』を参照してください。

Raspberry Pi へのインストール

Cisco Business ダッシュボードプローブ ソフトウェアを取得したら、次の手順でインストールできます。

1. <https://www.raspberrypi.org/software/> から Raspberry Pi OS (旧 Raspbian) イメージをダウンロードします。Probe のパフォーマンスを最大化する場合は、「lite」イメージを推奨します。
2. インストールガイド (<https://www.raspberrypi.org/documentation/installation/installing-images/README.md> [英語]) を利用して、Raspberry Pi を準備します。
3. Cisco Business ダッシュボードプローブ Raspberry Pi OS インストーラファイルを Raspberry Pi にコピーします。

Raspberry Pi のネットワーク インターフェイスは、1 つ以上のネットワークデバイス用の管理インターフェイスが含まれている VLAN に接続されている必要があります。Probe が 1

つ以上のネットワークデバイスに直接接続されていない場合、ネットワークを完全に検出できません。

4. `sh <インストーラのファイル名>` コマンドを使用してインストーラを実行します。たとえば、`sh cbd-probe-2.3.0-raspbian-buster-armhf.signed.sh` です。必要に応じて、`sudo` プロンプトでパスワードを入力します。

インストールプロセスが完了すると、Probe アプリケーションが自動的に起動します。アプリケーションの利用方法および初期設定方法の詳細については、『[Cisco Business Dashboard クイックスタートガイド](#)』を参照してください。

Ubuntu または Raspbian Pi OS からの Cisco Business Dashboard の削除

Probe の設定を維持したまま、Ubuntu または Raspbian Pi OS システムから Cisco Business ダッシュボードプローブ およびそのすべての依存関係を削除するには、次の操作を実行します。

1. コンソールまたは SSH を使用して、オペレーティング システムにログオンします。
2. コマンド `sudo apt-get autoremove cisco-business-dashboard-probe` を入力して、プロンプトの指示に従います。

Ubuntu または Raspbian システムから、Cisco Business ダッシュボードプローブ およびその依存関係と設定を完全に削除するには、次の操作を実行します。

1. コンソールまたは SSH を使用して、オペレーティング システムにログオンします。
2. コマンド `sudo apt-get --purge autoremove cisco-business-dashboard-probe` を入力して、プロンプトの指示に従います。

